

OCZ ストレージソリューション、一般市場向け SSD のエントリーモデル「ARC100」シリーズで日本語表記のスリーブを使用した新装版を展開

2015 年 4 月 24 日 —OCZ ストレージソリューション、

San Jose/台湾・新北市—OCZ ストレージソリューション(以下、OCZ)は、これまで英語表記のユニバーサルパッケージで展開してきた一般市場向け SSD の日本語版パッケージ化を推進し、エントリーモデル「ARC 100」シリーズに、日本語表記のスリーブ(帯)を使用した日本語版パッケージとして、新装発売いたしました。



OCZ は、2014 年 1 月 22 日に正式に東芝傘下のグループ企業として再スタートを切り、SSD の要となるフラッシュメモリチップに、信頼性に優れた東芝製チップを採用するとともに、OCZ 独自開発の SSD コントローラの最適化を進めてまいりました。エントリーモデル「ARC 100」シリーズでは、廉価なフラッシュチップを採用して価格を抑えるのではなく、東芝の A19nm プロセス技術を採用した MLC NAND フラッシュメモリチップを採用するとともに、自社製 SSD コントローラを組み合わせることで、長期間、安心してお使いいただけるよう、信頼性とパフォーマンスをバランスを取った製品です。新装版となる日本語パッケージ版では、信頼性を向上させた最新ファームウェアとともにご提供しております。なお、本製品の特徴は以下のとおりです。

・東芝 A19nm MLC NAND フラッシュメモリチップ

東芝の 19nm プロセスの第 2 世代品となる A19nm プロセスを採用した MLC NAND フラッシュメモリチップを採用。同チップは、フラッシュセルが劣化すると、動的にセルを最適化する NAND フラッシュマネジメント技術を備え、従来モデルよりも高い耐久性を実現。約 3 年間使用し続けた場合の耐久性の目安は 20GB/日。

・OCZ 独自の Barefoot 3 M10 SSD コントローラ

残り容量がわずかな状態や、複数のアプリケーションを実行した状態でも、パフォーマンス低下を最小限に抑え、長期間の使用でも安定したパフォーマンスを発揮します。

・厚さ 7mm の薄型モデル

最新のモバイル PC のストレージのアップグレードにもご利用いただける、厚さ 7mm 厚のフォームファクタを採用しています。



・新しい SSD ツール「SSD Guru」に対応

直感的で解りやすい GUI で、SSD のチューニングや、OS の最適化などの機能を実現する、OCZ の最新 SSD ツール「SSD Guru」(4 月 25 日現在、英語版のみ)に対応。

□製品情報

<http://jp.ocz.com/consumer/arc-100-sata-3-ssd>

□お客さまからのお問い合わせ先

CyberMedia Communications Inc. : Info@cybermedia.com.tw

□報道関係者さまからのお問い合わせ

jppr@cybermedia.com.tw

OCZ ストレージソリューションについて

東芝のグループ企業の一つである OCZ ストレージソリューションは、高性能なクライアント向けおよびエンタープライズ向け SSD のリーディングプロバイダであり、東芝の完全子会社です。SSD の完全なラインナップを提供すべく、OCZ ストレージソリューションでは、多種多様な用途に適用できるよう、独自の技術を活用し、さまざまなフォームファクターやインターフェースに対応しています。OCZ は、SSD ハードウェア開発のみならず、ファームウェアやコントローラ、仮想化技術、キャッシングおよびアクセラレーションソフトウェア技術、データの信頼性やストレージの耐久性を高める技術などを、すべて内部で開発しています。また、OCZ は顧客の要望に応じて、データの保存、アクセス、分析などの機能を垂直統合したソリューションも展開しています。なお、このほかの情報は、<http://www.ocz.com/> をご参照ください。